

令和3年度 七校園 PTA 協議会人権研修
子どもの SOS 受け止め方講話

子どもの心を守るために 親子で育む自尊感情 5つの方法

新型コロナウイルスによる環境の大きな変化は、子どもの心理的危機に繋がっています。日常の子どもらしく過ごしていく中、生きづらさを抱える子どもたちも少なくありません。

本講演では、児童・生徒、教職員、保護者に向けて全国で SOS の出し方・受け止め方の講演を行っている高橋聡美氏（中央大学人文科学研究所 客員研究員）を招き、子どもの生きづらさの受け止め方や親子で育む自尊感情についてご講話いただき、七校園 PTA 協議会の子どもたちの心を守り幸せな未来につながることを願い、本研修会を企画させていただきました。

たくさんのご参加を心よりお待ち申しあげます。

【日時】

令和3年11月6日（土）

開場 14：30～

講演 15：00～17：00

※終了後のアンケートにご協力ください。

【講師】

高橋 聡美 氏

中央大学人文科学研究所 客員研究員
一般社団法人 高橋聡美研究室 代表理事
BPO（放送倫理・番組向上機構）委員
前防衛医科大学校 精神看護学 教授



【会場】

大阪市立十三中学校 体育館

※自転車でお越しの際は、阪急沿線沿いに駐輪してください。

【お申込み方法】 10月25日（月）までにご連絡ください。

◇お電話でのお申し込み

◇QRコードからのお申込み

十三中学校教頭まで

06-6301-2855

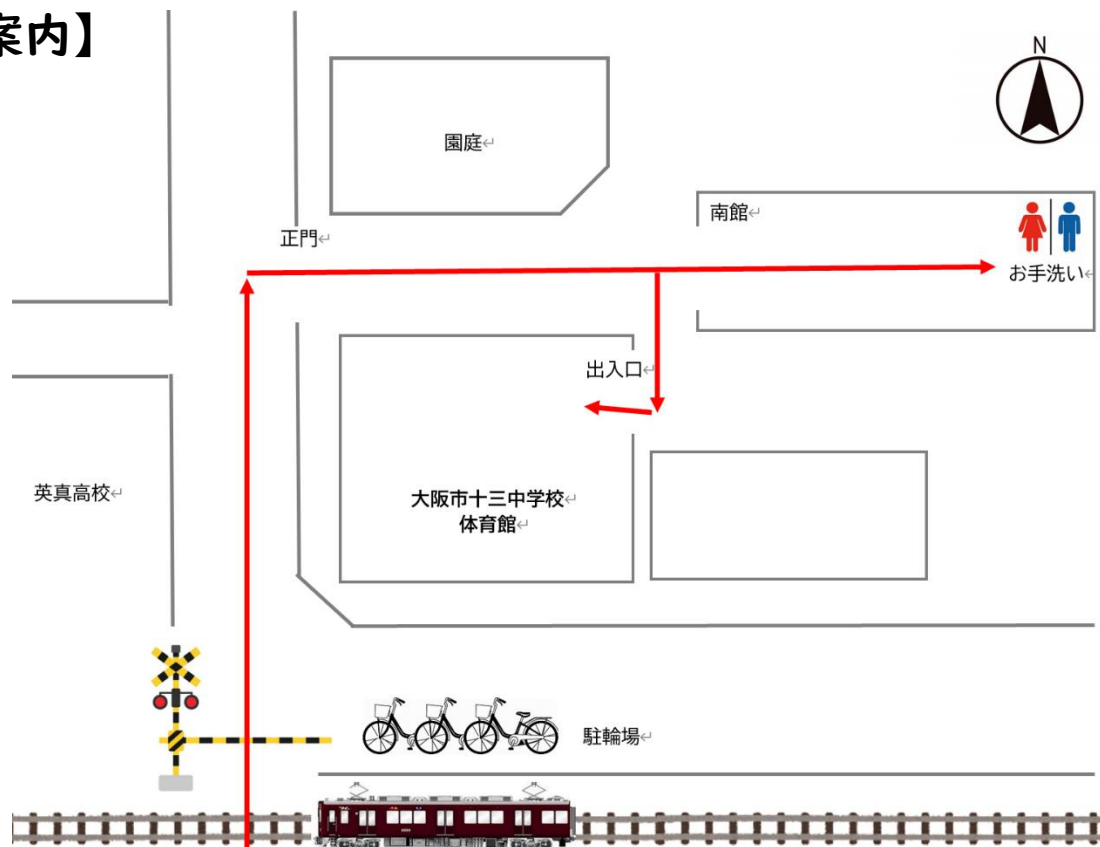
（配付プリントに記載）

※託児スペースも設けておりますが
人数に限りがあります。

事前にご相談ください。

※定員に達した時点で終了させていただきます。

【会場案内】



【お願い】

- ・当日の検温の実施にご協力ください。
- ・マスクの着用にご協力ください。
- ・入場の際のアルコール消毒にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染状況により、中止・延期及び実施方法の変更も予測されます。状況が変わり次第、各学校園のホームページでご案内させていただきます。
- ・自転車でお越しの場合は、阪急沿線沿いに駐輪してください。
- ・託児スペースを設けますが人数に限りがあります。事前にご相談ください。(コロナ感染対策として、できるだけご家庭でのご対応をお願いいたします。)
- ・スリッパはご持参ください。

【主催】 大阪府立十三中学校

【協賛】 校下七校園 PTA 協議会

【協力】 淀川区役所

【講師紹介】

高橋聡美 博士（医学）
中央大学人文科学研究所 客員研究員
一般社団法人 高橋聡美研究室 代表理事
BPO（放送倫理・番組向上機構）委員
前防衛医科大学校 精神看護学 教授

鹿児島県出身

自衛隊中央病院高等看護学校卒

国立精神・神経センター国府台病院 精神科病棟・心療内科病棟で看護師としてメンタルヘルスに長年関わる

2003 年～2005 年 スウェーデンでメンタルヘルス制度について調査

帰国後、宮城大学 看護学部 精神看護学領域で看護教育に従事する傍ら県内の自殺予防活動に着手。

2011 年 仙台在住中に 311 大震災を経験し、その後は被災地の遺族ケアを実践中

2012 年 つくば国際大学精神看護学教授

全国での遺児のプログラムの構築を開始。

2014 年 防衛医科大学校 医学教育部 教授

新型コロナ対策の派遣自衛官のメンタルケアを行う

2020 年 4 月より中央大学人文科学研究所 客員研究員

2021 年 4 月より BPO（放送倫理・番組向上機構）委員

5 月 一般社団法人 高橋聡美研究室を設立

自殺対策活動

2005 年スウェーデンから帰国後、自殺予防活動に取り組むと同時に自殺の遺族のわがちあいの会を主宰。また、全国に先駆けて自死遺児の支援にも乗り出し、2010 年 12 月に仙台で遺児のケアプログラムを開始したところ、3 月後に震災に見舞われる。震災後は、震災遺族・震災遺児を含む遺族ケアに奔走。

2012 年より、死別体験だけではなくいじめや虐待、離別、自殺といった「生きづらさ」への全人的支援をテーマに自殺予防教育やグリーフプログラム運営を行う。

2016 年より 全国で自殺予防教育の授業および教員研修を行っている。

2017 年 より南日本新聞客員論説委員

2018 年 南さつま市自殺対策策定委員長

全国の市町村の自殺対策策定スパークライズを行うと同時に小中学校高校で自殺予防教育の授業を行っている。

2020 年は自殺予防授業・研修 76 回。

<著書>

1)『教師にできる自殺予防』2020 年 12 月、教育開発研究所

2)『グリーフケア死別による悲嘆の援助』メヂカルフレンド社（編著）2012 年 5 月

3)『ひとりじゃない ドキュメント震災遺児』NHK 出版社（共著）2012 年 11 月

4)『子どものグリーフを支えるワークブック～場づくりに向けて～』

梨の木舎（監修・共著）2013 年 6 月

5)『死別を体験した子どもによりそう一沈黙と「あのね」のあいだでー』

梨の木舎（共著）2013 年 6 月

5)『あいまいな喪失』誠信書房 2019 年 3 月（共著）

6)『教師にできる自殺予防』教育開発研究所 2020 年 12 月

<主な論文>

1)東日本大震災で大切な人を失った子どもたちへの心の支援

安全教育学研究第 12 巻第 2 号 47-60 2013

2)東日本大震災における遺族の現状とグリーフケア

トラウマティック・ストレス 第 10 巻 第 1 号 65-70 2012

3)自殺未遂者の家族とスタッフのケア 精神科臨床サービス第 12 巻 03 号 2012

<マスコミ出演など>

2010 年 4 月 クローズアップ現代 「犯罪加害者」

2011 年 6 月 クローズアップ現代 「どう支える“震災遺児”」スタジオゲスト出演

2011 年 7 月 とくダネ 「グリーフケア」

2011 年 9 月 ニュース ZERO 「震災後の心のケア」他

2017 年 9 月 ニュース ユアタイム

2017 年 11 月 NHK 視点論点 グリーフケア

2019 年 2 月 世界仰天ニュース「失笑恐怖症」

2019 年 9 月 NHK 視点論点 子どものグリーフケア

2020 年 NHK 視点論点 コロナ禍の若者自殺 など多数

